

別記
第1号様式（第14条関係）

環境マネジメントシステム導入報告書

(宛 先) 京 都 府 知 事	2022年7月29日
住所（法人にあっては、主たる事務所の所在地） 京都市中京区西ノ京桑原町1番地	氏名（法人にあっては、名称及び代表者の氏名） 株式会社 島津製作所 代表取締役社長 山本 靖則
環 境 マ ネ ジ メ ン ト シ ス テ ム の 名 称	ISO14001:2015
適 用 範 囲	株式会社 島津製作所 本社地区事業所及び関連事業所
導 入 年 月 日	1997年 6月 24日
認 証 番 号	JQA-EM7749
基 本 方 針	島津製作所 本社地区事業所及び関連事業所は、脱炭素社会や循環型社会への対応といった社会の環境課題の解決を、計測機器、医用機器、航空機器、産業機械の4つのセグメントおよび関連事業で図っていくことにより、環境と調和した事業の成長を発展を目指した環境経営を推進し、持続可能な社会の実現に貢献する。
環境に配慮した事業活動を自主的に進めていくための目標（以下「目標」という。）	令和3年度目標 ・エネルギーに起因するグローバルなCO2排出量の削減：41,086t以下（社内換算係数） ・化学物質管理、廃棄物の分別徹底などによる環境リスクの低減。 ・すべての製品について、ライフサイクル全体を通じた環境負荷を低減する。
目標を達成するための取組の内容	・省エネ施策の継続実施と、再エネ電源の導入促進。 ・法令や社内規定の周知と順守の徹底。 ・設計段階からのエコ化の意識づけと運用の徹底。
目標を達成するための取組の進捗状況	令和3年の実績 ・省エネについて、投資を要するものは当初計画ほど進まなかったが、運用改善を中心に、順調に進んだ。 ・計画通り、教育や訓練を実施。 ・すべての製品のエコ化検討が進み、特に優れたエコ化製品の登録も増加した。
目標を達成するための取組の成果及び当該成果に対する評価	令和3年の実績 ・省エネ施策の着実な実施を中心として、実績38,720tの排出となり目標達成。 ・化学物質に対する問い合わせ件数が増えており、教育や訓練を通して意識が向上されたと考えている。 ・環境配慮設計の製品の売り上げについて前年度比2割増を達成。
事業活動に係る法令の遵守の状況	環境法令に対して、罰金過料を伴うような違反はなかった。 御池工場にてZnの排水異常の注意処分があった。処分の指摘事項に対しては是正済み。
環境マネジメントシステムの評価及び見直しの内容	評価・見直しについては、マネジメントレビューで、1年に1回実施している。 令和4年4月26日に開催した環境委員会でマネジメントレビューを実施し、当社本社地区事業所および関連事業所の環境マネジメントシステムの適合性、妥当性並びに有効性について、確実に維持していることを確認した。

注 認証番号の欄は、導入した環境マネジメントシステムについて第三者の認証を受けている場合にのみ記入してください。